

議会のあり方調査特別委員会・企画調整部会記録

開 会 年 月 日	平成30年 1 月 16 日
開 会 時 刻	午前11時28分
閉 会 時 刻	午前11時48分
出 席 委 員 名	◎中山裕司 ○品川幸久 鈴木豊司 福井輝夫
	宿 典泰 浜口和久 吉井詩子
	西山則夫（議長）
欠 席 委 員 名	上村和生
署 名 者	中山裕司
担 当 書 記	杉原正基
審 査 案 件	1 議会のあり方調査特別委員会の今後の基本的な進め方
説 明 者	議会事務局長、次長、議事係長、調査係長、
	議事係書記、調査係書記

会議の概要

中山委員長開会を宣言、直ちに会議に入り、「議会のあり方調査特別委員会の今後の基本的な進め方」を議題とし、各分科会の今後の基本的な進め方について各会長からの報告、報告に対する質疑の後、3分科会の情報が共有できるようにすることを確認し閉会した。

開会 午前11時28分

◎中山裕司委員長

ただいまから議会あり方調査特別委員会・企画調整部会を開会させていただきます。本日の出席者は7名でありますので、会議は成立をいたしております。

本日、ご協議いただきます案件は、「議会のあり方調査特別委員会の今後の基本的な進め方」でございます。

それでは、会議に入ります。

最初に、各分科会から「各分科会の今後の基本的な進め方について」の御報告をいただきたいと思えます。

まず最初に、条例等検討分科会の鈴木会長から報告をお願いいたします。

○鈴木条例等検討分科会会長

条例等検討分科会におきましては、前期の最後の分科会におきまして、残されました検討項目ということで確認をしております。

資料2にございますように、一つには、議会の議決すべき事件に関する条例の制定、政策立案について、事務局体制の強化・充実、予算・決算審査のあり方、議長任期、管外行政視察の抜本的な見直しと、この6つの項目につきまして、既に確認をしております。

今後、これにつきまして検討を進めていくわけでございますが、この中でも、予算・決算のあり方につきましては、最重要項目ということで取り組んでまいりたい。この3月定例会までに、分科会で方向付けをさせていただきまして、その後、企画調整部会になるのか、特別委員会になるのか、議会運営委員会になるのか、ちょっとわかりませんが、再度御協議をいただきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

それともう1点、28年7月に、この特別委員会が設置された時に企画調整部会及び分科会の設置に関する要綱というのをつくってもらっております。

その中で、第5条に条例等検討分科会の規定がございまして、その中身を見たときに、議会基本条例骨子、あるいは議員倫理条例骨子案というような規定がございまして、その点若干整理をする必要があります。

分科会の中で、協議をさせていただきまして、調整部会等に上げさせていただきたいとそんなふうに思っておりますので、ひとつよろしくお願いたします。

以上でございます。

◎中山裕司委員長

ありがとうございます。

それでは次に、広報検討分科会、浜口会長からよろしくお願いたします。

○浜口広報検討分科会会長

それでは、広報検討分科会の今後の基本的な進め方について、御報告を申し上げます。

私ども広報検討科会のこれまでの具体的な調査・検討項目につきましては、市議会だより、ホームページ、議会のライブ中継、市議会のICT、その他広報に関するものであります。

まず、市議会だよりにつきましては、改選後、最初の発行であります2月15日号に向けまして、ただいま編集校正作業を行っておりますところで、今回から、議案質疑及び一般質問の記事に各議員の顔写真を掲載していきます。

これは、前回の前期のときに決定をしておる事項でございます。

次に、ホームページにつきましては、掲載内容の精査を事務局と図ってまいります。

次に、議会のライブ中継につきましては、実施の是非も含めて協議の必要がありますが、庁舎改修に伴う議場及び委員会室の改修にあわせ、インターネット配信への環境整備を図ってまいります。

また、動画配信につきましては、録画放送の動画配信の実施ということで、前回の9月の定例会からインターネットでのホームページでの配信をさせていただいております。

次に、議会のICT化につきましては、タブレット運用の調査を始めたところ、当局側との調整を要するということから、時期尚早と言われておりましたが、今後協議を継続していきたいと思っております。

今後につきましても、引き続きこれらの事項を本分科会での協議項目として他の分科会等とも連携を図りながら協議を重ねてまいりたいと思っております。

参考に、資料3を添付いたしておりますので、後ほど御高覧いただけたらと思っております。

以上、広報検討分科会からの基本的な進め方について御報告をいたしました。

◎中山裕司委員長

はい、どうもありがとうございます。

それでは次に、広聴検討分科会宿会長から報告をお願いいたします。

○宿典泰広聴検討分科会会長

それでは、広聴検討分科会の今後の基本的な進め方について、御報告を申し上げます。

私ども広聴検討分科会のこれまでの具体的な調査検討項目は、議会アンケート、議会報告会・意見交換会、広聴機能のあり方・仕組みづくり及びその他広聴に関するものでありました。

まず、議会アンケートにつきましては、平成28年の年末に実施をし、市民の市議会に関する調査結果報告を作成しましたが、広聴活動の一つの方法として考えており、インターネットを活用するなど、新たなアンケート手法の検討も必要ではないかと思っております。

次に、議会報告会・意見交換会についてであります。昨年皇学館大学の学生と意見交換、イベントを行いました。

また、総連合自治会役員とは、グループディスカッション方式で意見交換会を実施しました。

ただ、皇学館大学との意見交換会が学生と市議会の距離を近づけることを目的とし、学生側主体で実施をされましたが、今後は議員と学生が協働で意見交換の手法を検討していく必要があります。また、議会報告会については、実施の是非も含めて、開催方法など協議する必要があると考えております。

今後につきましては、議会活動として市政に反映できるよう、他の分科会とも連携を図りながら、広聴機能のあり方・仕組みづくりに向けた協議を行ってまいりたいと思っております。

以上、広聴検討分科会から今後の基本的な考え方について御報告をいたしました。

それと、追加でありますけれども、1月19日に皇学館大学生との協議を進める予定であります。

その際に、上村副会長がちょっと今インフルエンザということでありますので、私

1人ということでは、少し今後の協議についてもですね、何らかの問題があるんじゃないかなと思いますので、会長指名ということで、申し訳ないんですけども、以前副会長しておった野崎委員を同行させていただきますので、その点もお許しをいただきたいなとこんなことを思っております。

また、内容につきましては、皆さんに御報告をさせていただきたいなとこんなことを考えております、以上です。

◎中山裕司委員長

3分科会の会長さんの御報告ありがとうございました。

ただ今、皆さん方が聞いていただきましたように、3分科会の今後の基本的な進め方について、いろいろと御報告をいただきましたけれども、これにつきまして何か御意見ございませんか。

他の分科会のことでも結構でございます。

良い機会でございますので。

宿会長。

○宿典泰広聴検討分科会会長

ICTのことなんですけれど。私たちほとんど庁舎の改修の計画というのがあまりこう今見てない状況なんですけれども、そのあたりの庁舎改修がどこまでどういう状況になるかっていうのは、わかっておる事務局の方なのか、ちょっとそのあたりはどんな状況になるのでしょうか。

完成した以後に、先ほど報告あったような、いやいやもう、インターネット配信はできませんのやという話になるのか、ちょっとそのあたりのことをですね、教えていただきたい。

◎中山裕司委員長

はい、どうぞ。

●山口調査係長

議場及び委員会のことでございますが、先ほどちょっと広報の会長の方からも触れさせていただいておるんですけども、カメラとマイクの連動したシステムを導入予定で、現在、随時、庁舎改修担当の管財契約課のほうと、また、関係受託業者のほうと調整を図っておるところでございます。

今、ネット配信、録画に関しましては、先ほど申しましたように、昨年9月、10月のタイミングで既に実施しております。

これがライブ中継、いわゆる生中継ということになると、これが実施するしないということも含めて、またするなどの会議を対象とするか、そういったところもまた、御協議いただく必要があろうかと思いますが、一応そのネット配信のリアルタイム放送というのは、もうひとつハードルがあがります。物理的なハードの部分に関しましても、ただ、これも予算化しております、30年に向けてそういった対応ができる方向で一応動いておるところでございます。

◎中山裕司委員長

はい、宿会長。

○宿典泰広聴検討分科会会長

僕が心配しておるのは、工事が進んで完成をされました。

今後のICT化ということで、導入しようと思ったら、実はそこは壁にもう一つ穴空けやなあかんのやというようなことが、あるのかなのか、そのあたりの心配をする話で、そういう準備がしてあれば、あとは予算化の話だけで、きちっとした整備ができるのではないかなと、こんなことを思っておったので、そのあたりを心配します。

工事関係者の方、また、管財のほうにもその旨の話をさせていただいて、準備だけ怠らないようにだけよろしくお願ひしたいと思います。

もう1点よろしいですか。

事務のペーパーレス化ということがよく言われて、するんですけども、産建の視察を行ったときに、実はペーパーレス化で機器が全部消滅しまった。

それをどうにかたちで乗り切ったとかいうと、倉庫からまたペーパーを出してきて、図面であったりというようなことを引っ張り出してきたということを知るとですね。どこまでペーパーレス化するかっていうことを、ある程度災害時のことも頭に浮かべながらやる必要があるかなと、こんなことを思っております。

なんかいい状況にはなるということは我々も想像はしても、やはりこの震災等の関係で考えると、ペーパーも残っておるということも必要ではないかなということになると、当然それには倉庫やいろんなことが出てくるんやけれども、大変そのあたりが量が多いですね、どこまでどうやっていくかということは何か考え方としては持っておったんでしょうかね。

◎中山裕司委員長

はい、事務方何か。

●山口調査係長

ペーパーレス化の件です。

昨年来から、その分野に関しまして、タブレットっていうのもあるんですけども、あるいは、タブレットっていうだけじゃなくて、メールであったり、そういった意味でペーパーレスっていうと、いろんな手法があろうかと思っております。

他の自治体、他の議会等の調査をしましておるところでございます。

そのあたりで、どういったペーパーレス化のレベルまでいけるのかとか、そういった分野を今後も協議させていただいて、あるいは当局も含め、当然、議会側だけでは実施できないことございますので、当局も含めまして、調整協議が必要かと思っております。

○宿典泰広聴検討分科会会長

当局との連携の話をお話から報告はいただいたわけです。

当然そういうことですが、先ほど言われたように、どこまでのレベルをどうしていくかという、補完的な面をですね、きちっとやらないと、非常に防災時のときには、ちょっと課題になるかなと思っておりますので、そのあたりの打ち合わせをしてください。よろしくお願いします。

○浜口和久広報検討分科会会長

宿さんが言われた部分につきましては、バックアップの問題というふうな部分になるかと思えます。

I C T化を進めていく中で、バックアップの問題も含め、きちっと協議をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

◎中山裕司委員長

宿会長の話やないけど、I C T化が今の段階で、あんだけもう改修が進んできておる段階で、それがまだどういうふうなあれかということは、ちょっとやっぱり、もう少し議会としての、庁舎改修の管理をしとんのは、管財契約課でその辺との連絡というか、その密に協議というのが進められてきたのかどうかという、そうのが非常に疑問に思うんで、今のこの段階でまだI C T化がどういうふうに進められて、

どうしてくんかというようなことが、明確でないというのはちょっと今の話やないけども、そこら辺の協議は、進められておるのかな。

●杉原議会事務局次長

庁舎改修につきましては、管財契約課が窓口になっておりますが、議場、委員室に関することについては、議会事務局のほうから意見を言わせてもらって、仕様書等を作成して進めておりますので、先ほど山口申し上げましたように、議会中継に対応できるような、生中継、録画放送問わず、議会中継に対応できるようなシステムを導入するということで進めております。

◎中山裕司委員長

それでよろしいかな。

○宿典泰広聴検討分科会会長

僕が心配になっておるのは、今、議会のICT化の話をしておるけれども、庁舎の改修という大きな話になると、議会のほうは、それなりに予算を組めば、新しいICT化の話が、予算組みができるんやということやけれど、本庁の方が今までどおりやっていうことになるのとちょっといかなので、そのあたりもこれから将来にわたってどういうかたちのものが、どのようにいるかということ想像してかなかん話とすると、やっぱり壁へなんかのそういったものがきちっと配置されて、予算だけできれば、そういうことができるんかなというふうなことが想像できるやないですか。

そのことをちょっと心配するんですね。

◎中山裕司委員長

今、次長の話があったけども、庁舎全体の改修は、管財契約課やけども、議会棟に関しては、議会側が窓口で全部するという話で、現時点で皆さん方が想定されておるようなことは、実際、今回の庁舎改修に全部適用されて、対応されてるのかということとは、現時点では確信を持てるのかということになるので。

そこら辺のことが、直接その今の管財契約課を通じていって、施工業者にというようなことでいくと、そこら辺は議会として施工業者ないしは、設計業者との間にきちっと話ができておるのかということが大事で、そこら辺の問題だと思う。

●杉原議会事務局次長

設計業者とか、施工業者との打ち合わせには、議会事務局も必要に応じて入って、指示をさせていただいております。

◎中山裕司委員長

それやったら、いいと思うな。はいわかりました。

先ほどの条例等検討分科会長鈴木会長ほうからは、特に予算、決算、これらの方向性をきちっと早急にやっていただくということですから、この点もひとつご期待を申し上げとるんで、早く方向性を出していただくということが、大事なかなと思います。

そういうことで、きょう3分科会から示されました、今後の活動方針、そういうことでございますので、それを基本にしていただきましてですね、これから3分科会が独自にいろんな活動、展開をしていただく。

先ほど宿会長から言われましたように、お互いにこの調整会議あたりで3分科会の意見交換をこれからずっとさせていただきまして、3分科会がいろんな活動を共有できると、こういうような環境づくりもをしてまいりたいというふうに思いますので、どうぞよろしく願いをいたしたいと思います。

それでは、この程度で今回の進め方についてはですね、協議を終わらせていただきたいと思います。

以上で本日御協議いただきます案件は、終了いたしましたので、企画調整部会を閉会をさせていただきたいと思います。

どうも御苦労さんでございました。

閉会 午前11時48分

上記署名する。

平成30年1月16日

委員長 中山 裕司